

上北沢地区社会福祉協議会だより



絆 (きずな)

【第15号】令和4年2月

お問合せ 090-9818-2773 社会福祉協議会上北沢地区事務局

上北沢・八幡山周辺に在住の小学生 大募集!

オアシス八幡山が始まりました♪

オアシス八幡山は、日本大学文理学部の学生を中心とした小学生向けの学習支援の居場所です!

学校の宿題や自宅学習用のドリル、何でもOK!

時には、一緒にトランプや折り紙をすることも...ぜひ、ご参加ください♪



◆開催日: 第1・3火曜日、木曜日

*開催日の詳細は QR コードよりご確認ください。毎月更新されます。

◆場 所: 八幡山ふれあいの家(八幡山1-11-10)

◆対 象: 上北沢・八幡山周辺在住の小学生

先着10名程度

◆費 用: 無料

◆持ち物: 自宅学習用の教材、学校の宿題、飲み物等

◆緊急連絡先: 社会福祉協議会 上北沢地区事務局

電 話:090-9818-2773

◆申込み:右記の QR コードよりお申し込みください。



*共催:どんぐり食堂八幡山(子ども食堂)

日本大学文理学部学習支援ボランティアチーム(OFC 世田谷)

*協力:社会福祉協議会 上北沢地区事務局

社会福祉協議会 松沢地区事務局

砧ボランティアビューロー準備室



施行
1周年♪

世田谷区 認知症とともに生きる希望条例

—昨年10月に施行された「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」をご存じですか？
おとなでも子どもでも、誰もが無関係でないのが認知症です。
ひとりひとりが、認知症になっても希望を持って暮らしていけるまちを区民みんなと一緒に
作っていくために、世田谷区は、この条例をつくりました。
上北沢地区では、アクションチーム「上北AT」を立ち上げ、地域共生社会の実現に向け、
「認知症とともに生きる希望条例」を推進していきたいと思えます。

1. 今までの認知症の考え方を変える

講座やシンポジウム、地域の集いや認知症カフェなどに参加して、認知症への理解を深め
ましょう。

2. みんながこの先の「そなえ」をする

認知症になる前から、また、認知症になってからも自分らしく希望を持って暮らしてい
くために、自らの思いや希望などを書き記しておきましょう。

3. 一人ひとりが希望を大切にしたい、共に暮らすパートナーとして支えあう

認知症の本人を理解し、認知症の本人と共に歩み、「サポーター」ではなく「パートナー」と
して、一緒に楽しい経験を積み重ねていきましょう。

パートナーの存在によって、認知症になっても安心して外出ができ、これまで通りに趣味
を続けたり、仕事や社会参加活動を行うことができます。

4. 認知症と共に今を生活している本人の希望と当たり前で暮らせること(権利・人権)を一番大切に

認知症になってからも、自分の体験や思い、希望を伝え続け、自分らしく暮らしていく。
そうした姿や思いを聴くことで、認知症の本人もそうでない人も皆が互いに理解し合え、
認知症とともに安心して暮らせる地域を作っていくことができます。

「世田谷区認知症とともに生きる
希望条例」パンフレット。
上北沢まちづくりセンターで配付
しています！

